

顧客情報あや流出!

## 信金廃棄パソコンに顧客情報! 最後の後始末ぐらいいはしてよ

経営破たんした旧京都みやこ信用金庫の支店のパソコンが清算業務に伴って清算法人であるグローバルサービスに無償譲渡され、パソコンのハードディスクに入っていた顧客情報が流出していたことがわかった。内容は支店で作成した定期預金者約300人の名簿と預金額や、京都中央信金に引き継ぐ債権の抵当物件に関する説明書、貸付先企業に対する代位弁済の通知書などの文書類約30点。現在、多くの個人情報マーケットで取引されている。特に個人の資産状況が把握できる金融機関の情報は驚くほどの高値がつく。経営破綻で信用を失った(信用を失って経営破綻したともいえるけど...)にもかかわらず、最後まで後始末できない意識の低さにあきれるばかり。今回の不祥事は、自らの信用のみならず、金融機関全体への不信感をおおることとなった。経営がお手上げになったからといって、全てから逃れられると思ったら大間違い。責任は最後まで全うしてくれやす。

## いまだきの歴史

一番新しい日本の一ページ

米原潜衝突事故

### 不明者の家族に誠意を見せるなら 一刻も早い引き揚げ作業を!



ハワイ沖での米原潜×えひめ丸の衝突事故は、原因究明の捜査や補償問題についての話し合いが依然として続いている。しかし、米国側と日本側、特に遺族側との交渉にはどうしても大きな温度差を感じずにはいられない。不明者の家族が何よりも望んでいるのは原潜の早期引き揚げ。これに対して米国側は不明者は生存していないと思っているようだ。ロシアの潜水艦座礁事故では、救出作業の遅れが乗組員全員の死亡を招いた。手を尽くす前に9人の乗組員の安否を諦めるのは、家族の方々に対してあまりにも失礼。たとえわずかな可能性でも、それに望みを託したいと思う家族の気持ちを察して、米国はまずは一刻も早く引き揚げ作業を始めてくれ! 今回の事故は民間人を巻き込んだ最悪のもの。民間人の安全や国家の平和を守るのが軍の仕事で、その仕事の遂行に命を賭けるのが軍人なら、補償問題や責任者処罰云々の前に、命を懸けて不明者の捜索に力を注いで当然でしょ?

日本人(京都?)は  
まだまだ使えるものを  
平気で捨てるね



外来種問題

### 無知は地球と己の生活を滅ぼす 生態系を遊び目的で変えるな!

ニゴロブナなどの稚魚を食い荒らしている琵琶湖のブラックバスが問題となって久しい。京都でも深泥ヶ池でブラックバスの駆除にのりだしたものの、根本的な問題解決には至っていない。そんな今、山梨県河口湖など一部水域では、漁協がバスを釣り資源として公認。積極的に放流するだけでなく、入漁料に課税して駐車場整備などに充てる動きがある。また、水産庁はバス釣りを認める水域を限定的に設ける半面、他の水域では駆除を進める「すみ分け」方式を検討している。

一方、植物でもアフリカ原産で成長が早く、紙の原料となるケナフをめぐる論争がある。森林の伐採を減らし、二酸化炭素を大量に吸収し地球温暖化を防ぐとして栽培が盛んだったが、繁殖力があるため他の植物に影響を与える恐れもあるという。

外来種のブラックバスがこれだけ増えたのは、誰かが放流したことが原因。目的は「釣り」という遊びだ。もはや人間は責任を取れない領域まで地球の環境に手を加えてしまっているが、少なくとも娯楽のために生態系を脅かせるのはあまりにも愚かしいことではないだろうか。



文◎大塚 祐希

1968年大阪府八尾市生まれ。昔ながらの京都の民家を仕事場とするライター集団「大塚祐希事務所」の暫定CEO。「スポーツが好きだが自分ではやらない」「車が好きだが免許を持っていない」「酒が好きだが外で飲むと店で眠ってしまう」という数々のジレンマと戦いつつ、今日も愛嬌G4を駆る。

イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日常園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP◎http://www.d1.dion.ne.jp/~ryoguchi